



現在形の昔

なるへそ新聞ファン増加

思い出はニヨミだ

西成なるへそ新聞(大阪府西成区)は三月末同紙の創刊を祝った。西成区で芸術活動を展開するブレカ・プロジェクトとの共同企画による「なるへそ」の創刊は、地域の住人々の記憶を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に扱われ、街の変化と同様に新しい記事を入れる際、新しい記事を入れる際、古い記事を切り取って取り壊し、少しづつ時間をかけて記事が差し変わって行くこと。



なるへそ新聞

「西成なるへそ新聞」は新規の記者と広く募集している。忘れられた出来事、大きな戦争体験をすらすらと個人のディテールを失って単なる「歴史のページ」となってしまう現在、

この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまう前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたい。同社広報の村田仁氏は

語る。時空間を費く街の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。

なるへそ大展覧会

昭和八十九年(平成二十六年)二月十五日(土)から三月二日(日)にかけて、美術家山田亘(こう)さんの「西成なるへそ新聞」プロジェクトの始まりから発展までの全体像を報告する大規模な展覧会が行われる。会場は大阪府立江之子島文化芸術センター(BICC)である。

発行: 西成なるへそ新聞社
ブレカ・プロジェクト実行委員会
発行人: 山田 亘
編集: ブレカ・プロジェクト実行委員会
山田 亘・村田 仁
図案: 村田 仁

のこ、主催はブレカ・プロジェクト実行委員会。会場では号外二・六(ふる)号の販売も計画。同会場では平行して美術家・呉夏枝(お・はじ)さんの「編み物をほぐす」ワークショップからの展示も行われる。編み物の展示は二月十六日から三月九日まで別会場K10K11手芸館「たんす」(山王)でも展示される。



産直のおいしいお米とお袋の味
創業六五年
昭和二〇年
お食事処
ことぶき
太子二(三)五

社会福祉法人
山王福祉会
山王1-6-5

山野花店
山王2丁目13の2

大阪府現代芸術創造事業
ak・pots 2011-2013
Breaker Project
山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト
<http://breakerproject.net>